

■村上華岳 日本画家。文展の評価に懷疑抱いて国画会結成後、喘息のため隠棲、闘病しながら、宗教的傑作を描いた。

むらかみかがく

初の対等条約1888＝ 大阪で代々医業に携わる武田家の長男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 1歳：

日清戦争始・1894＝ 6歳：

日清戦争終・1895＝ 7歳：神戸市立神戸尋常高等小学校に入学。叔母の婚家である神戸の村上氏宅に寄寓。

八幡製鉄始・1897＝ 9歳：

Bushidou・ 1899＝11歳：尋常科を卒業，高等科に進む。

田中正造直訴1901＝13歳：父が死去し，家を継ぐ。

日比谷公園・1903＝15歳：小学校を卒業，_京都市立美術工芸学校に入学。京都の印刷屋に寄寓。

日露戦争始・1904＝16歳：裁判により生家の廃止を許可され，村上家の養子となる。

日露戦争終・1905＝17歳：

満鉄発足・ 1906＝18歳：

韓国反日暴動1907＝19歳：_美術工芸学校を卒業し，研究科に進む。第一回文展に出品したが，落選。

アヲヲ創刊・ 1908＝20歳：_美術工芸学校の生徒製作展覧会で金牌・銀牌を受ける。文展で「驟馬に夏草」が3等。

伊藤博文暗殺1909＝21歳：_研究科を修了し，京都市立絵画専門学校の2年に編入。新古美術展での入選が続く。

大逆事件判決1911＝23歳：_卒業制作「二月の頃」は第5回文展で褒状。すでに天才的萌芽が見られる。その後竹内栖鳳に師事。

明治天皇没・1912＝24歳：

大正政変・ 1913＝25歳：絵画専門学校の研究科を修了。第7回文展に浮世絵に傾倒して花見風俗を描いた「夜桜」を出品するが落選，

第一次大戦始1914＝26歳：同作品は全国美術工芸品博覧会で入選となった。

21ヶ条要求・1915＝27歳：結婚。第9回文展で「春耕図」が入選。

民本主義・ 1916＝28歳：タゴールに会い，*横山大観に日本美術院参加を求められる。第10回文展で「阿弥陀三尊」が特選となるも，

ロシア革命・1917＝29歳：_第11回文展では落選となり，文展における評価の極端な転変に懷疑を抱き，

本格政党内閣1918＝30歳：*ついに同窓の土田麦僊，榊原紫峯，小野竹喬らと文展を離脱して国画創作協会(国展)を創立した。以後同展を中心に，「聖者の死」，

べル仁条約・1919＝31歳：_「日高河清姫」，

大暴落・ 1920＝32歳：_「裸婦」などの宗教的な味わいのある作品を発表したが，

原敬首相暗殺1921＝33歳：

_喘息の発作が起り参加できなくなった渡欧の計画で，国展を一時中止し，
_芦屋に転居，宗教への傾倒が大きくなり，しだいに画壇から遠ざかって行く。

関東大震災・1923＝35歳：

護憲三派圧勝1924＝36歳：

治安維持法・1925＝37歳：大阪高島屋で個展開催。

円本時代始・1926＝38歳：大阪高島屋で再び個展開催。養父が死去。

金融恐慌・ 1927＝39歳：*以降神戸市花隈の旧居光存堂画室にこもり，持病の喘息とたたかいながら，求道の生活をつづけ，

共産党事件・1928＝40歳：国画創作協会が解散となり，新たに結成された新樹社の賛助員となる。

世界恐慌・ 1929＝41歳：養母が死去。

_みずから“制作は密室の折り”“仏陀山水であり山水菩薩である”という境地に至る一方，度々喘息の発作を

起し，床につくようになる。

満州事変・ 1931＝43歳：

国際連盟脱退1933＝45歳：

帝人疑獄事件1934＝46歳：_彼の作品を愛し，あるいは所有する人たちにより{踰尊会}がつくられた。

_晩年の作品は唐紙や，間似合紙に墨，朱，胡粉，金銀泥などを使った独特の技法のもので，「壁崖」，

日中戦争始・1937＝49歳：

健保+総動員 1938＝50歳：_「太子樹下禪那」，

第二次大戦始1939＝51歳：*「紅葉の山」「雲中散華」など珠玉の小品をのこし，喘息で没した。絶筆「牡丹」。